

精神障害当事者による 「病の語りを聴く」会

2019年
12月5日(木)

13時00分▶14時30分

関西大学 堺キャンパス A棟401教室

定員
50名

申込締切
11/29

精神障害のある方の支援方法の一つとして、近年では当事者が自己の病を語ることで、エンパワメントやリカバリーを図る活動が実践されており、成果を上げています。

本講演では、この活動をしている協力機関から当事者の方々とご家族の方を語り部としてお招きします。学生や市民の皆さんが、語り部の生活のしづらさを聴くことで、精神障害者に対する偏見をなくし、当事者目線を理解することをめざします。

登壇者

川辺 慶子 氏	家族SST交流会：堺市
宮田 理美 氏	リカバリープロジェクト 「心音」：豊中市
栄 セツコ 氏	桃山学院大学教授

プログラム

13：00～13：10	「語りとは？」
13：10～13：30	当事者の語り (宮田 理美氏)
13：30～13：50	家族の語り (川辺 慶子氏)
13：50～14：10	トークセッション
14：10～14：30	まとめ (栄 セツコ氏)

はがき・FAX・E-mail にて、お申し込みください。

▼「精神障害当事者による「病の語りを聴く」講演会」FAX申込フォーム▼

住所	〒 —		
氏名	ふりがな	電話番号	— —

ご記入いただいた個人情報は、関西大学個人情報保護規定に則り適切に管理いたします。本イベントのご参加登録のみ利用し、これ以外には使用いたしません。